

## 令和4年度の主な事業

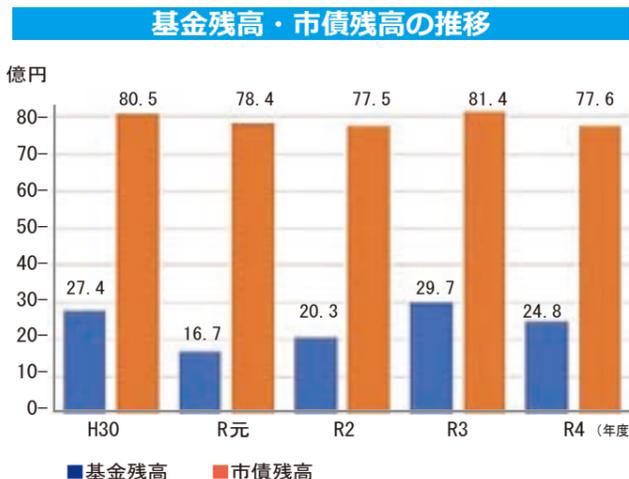
第六次羽村市長期総合計画の初年度となる令和4年度に重点的に取り組む主な新規・レベルアップ事業を紹介します。

健全な財政運営に向けた取組みを進めることにより、これらの事業に必要な財源を確保しました。

事業名	事業費〔歳出〕
多様な性に関する意識の啓発・相談の実施	48万9,000円
生理用品配布の試行実施	8万7,000円
介護サービス事業所向け人材育成の支援	300万円
徘徊高齢者探索サービスの充実	60万6,000円
多言語通訳システムを活用した子育て相談の実施	61万円
多胎児家庭の支援の充実	91万5,000円
3歳児健康診査における視覚検査の充実	130万7,000円
ICTを活用した学習環境の充実	541万9,000円
中学校における自閉症・情緒障害特別支援学級の設置	220万3,000円
武蔵野小学校体育館改修工事の実施	8,404万円
羽村東小学校トイレの洋式化の実施	456万3,000円
羽村西小学校屋上防水改修工事、トイレの洋式化の実施	5,422万5,000円
富士見小学校校舎、体育館の屋上防水等工事の実施	1億1,345万4,000円
図書館の宅配サービス等の導入	359万2,000円
羽村駅西口土地区画整理事業の検証	84万8,000円
クラウドファンディング等を活用した動物公園施設の改修等工事の実施	1,080万6,000円
電子申請の推進	416万2,000円
市内企業等の事業継続支援（事業者復活支援事業）の実施【令和3年度繰越事業】	4,010万円
避難行動要支援者個別避難計画の作成	317万6,000円
行政のデジタル化の推進	850万円
指定管理者制度の導入による公園の管理運営	11万4,000円



※一般会計  
 ※基金残高は、令和2年度までは決算額、令和3年度は決算見込額、令和4年度は当初予算額です。  
 ※令和4年度の基金残高には、令和4年度に積み立てる予定の基金利子などの積立金が含まれています。



## 健全な財政運営に向けた取組み

財政健全化に向けて、新たな財源の確保や、さまざまな事務事業の見直し、人件費の見直しなどを行いました。

また、歳出に対する歳入不足を補うため、基金からの繰入れや市債の借入れを行いますが、土地の売却などによりできる限り抑制し、将来負担の軽減を図りました。

### 主な取組み

(効果額 5億9,559万4,000円)

事務事業の見直し（主なもの）	
事務事業名	見直し内容
テレビはむら映像広報の制作・放映	番組時間短縮による制作経費の減額
行政バス・副市長車の廃止	行政バス・副市長車の廃止
コミュニティ助成金	助成金の減額
市民活動情報紙「きずな」	広報はむらへ統合
敬老のつどい	事前申込制とし、記念品および送迎バスを廃止
敬老祝金の支給	101歳以上への支給を廃止（88歳と100歳は継続）
私立保育園運営費助成金	助成単価の見直し
平日夜間急患センター	開所日数の減
環境フェスティバル	単独での開催を取りやめ、講演会の開催および産業祭に環境展を出展
特色ある学校づくり交付金	交付金の減額
移動教室補助金・修学旅行補助金	補助単価の見直し
伝統文化交流事業	「おわら風の盆」の休止
人件費の見直し	
事務事業名	見直し内容
特別職給与・管理職手当	特別職給与・管理職手当の減額
新たな財源の確保	
事務事業名	事業内容
クラウドファンディング（動物公園施設整備費寄付金）	動物公園獣舎等の改修事業に係るクラウドファンディングの実施
市有地の売却	市有地の一部を売却

### 財源補完（基金繰入額・市債借入額）の推移



※一般会計  
 ※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

市の財政は、市税の減収や社会保障費の伸びなどにより、厳しい状況が続いています。令和4年度予算は、第六次羽村市長期総合計画に掲げた将来像の実現を目指すための施策を重点的に予算化するとともに、財政健全化を重要課題として取り組み、中長期的な視点に立ち、持続可能な財政運営を目指すものとして編成しました。

# 令和4年度 市の予算（概要）

市の将来像の実現を図るために、持続可能な財政運営を目指す予算

問合せ 財政課 319

### 基金とは

将来のまちづくりに備えた積立金で、家庭でいう「貯金」にあたります。

### 市債とは

家庭でいう「ローン」にあたります。公共施設の建設などに必要な財源を補う借入金で、将来その施設などを利用する後世代の方にも建設経費を負担していただき、住民負担の世代間の公平を図るという目的で利用しています。